

## 科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン（改訂第2版）

### パブリックコメント募集

輸血用血液製剤の安全性は日々向上していますが、適正に使用したにもかかわらず副反応を生じることがあります。輸血の副反応をゼロにすることは難しく、副反応ができるだけ起きないように、また起きた時にいかに素早く適切に対処できるかが重要であると考え、2019年に「科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン」（第1版）を日本輸血細胞治療学会誌に公表しました。この度、科学的エビデンス等に基づき医療環境に応じた適切な輸血療法実施についての研究（23KC2009）により、あらためて輸血有害事象対応に関わる総計95件の文献を科学的に吟味し、「科学的根拠に基づいた輸血有害事象対応ガイドライン」（第2版）を作成しました。本パブリックコメントで、会員の皆様より忌憚のないご質問、ご意見およびご提案を賜りたく存じます。ご協力をお願いいたします。

2024年10月吉日

日本輸血・細胞治療学会 理事長  
兼 厚生労働行政推進調査事業費補助金松本班研究分担者 岡崎 仁  
同ガイドライン委員会委員長 松本雅則